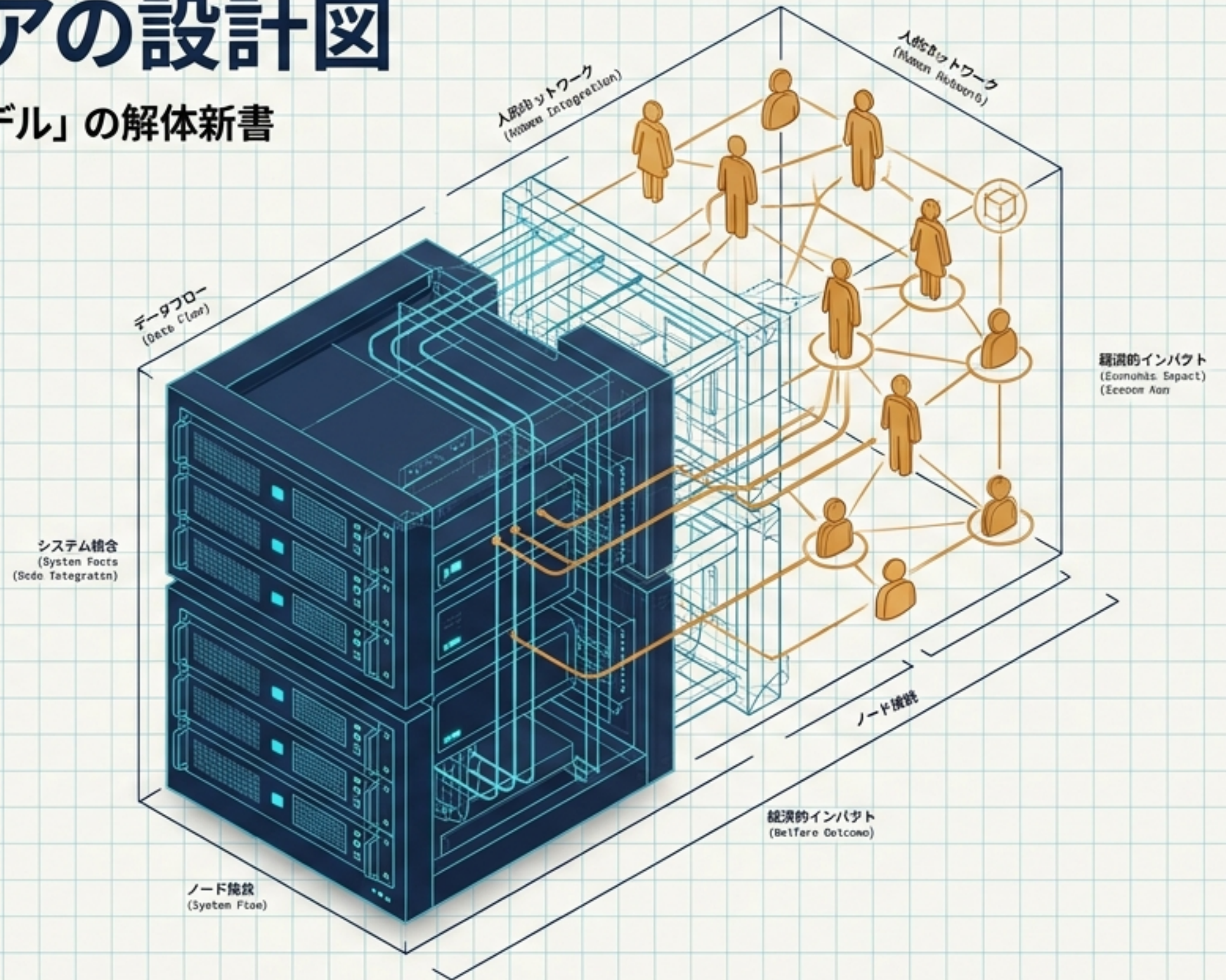


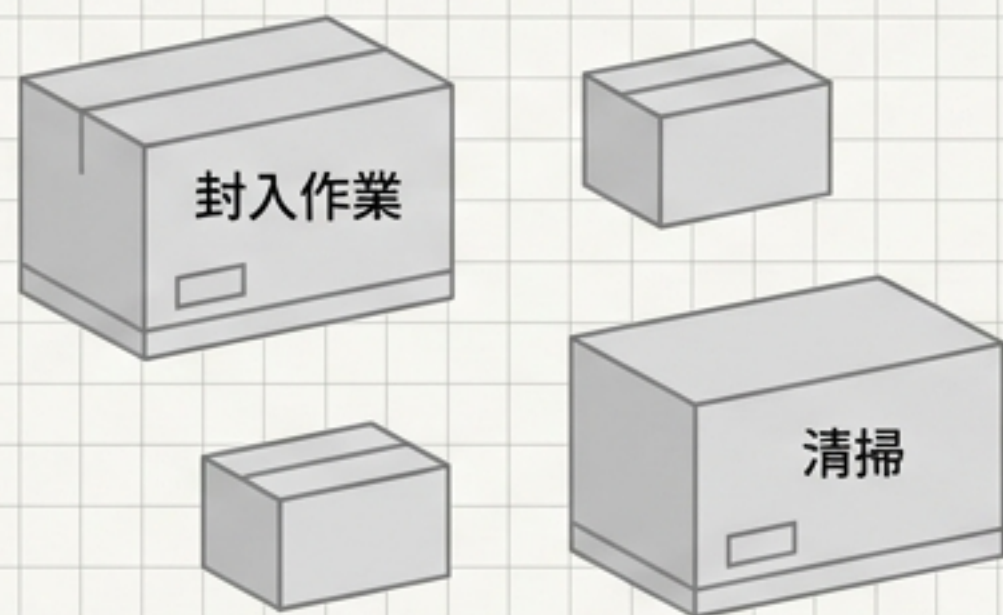
# テック・ウェルフェアの設計図

福祉と経済性を統合する「カムラック・モデル」の解体新書



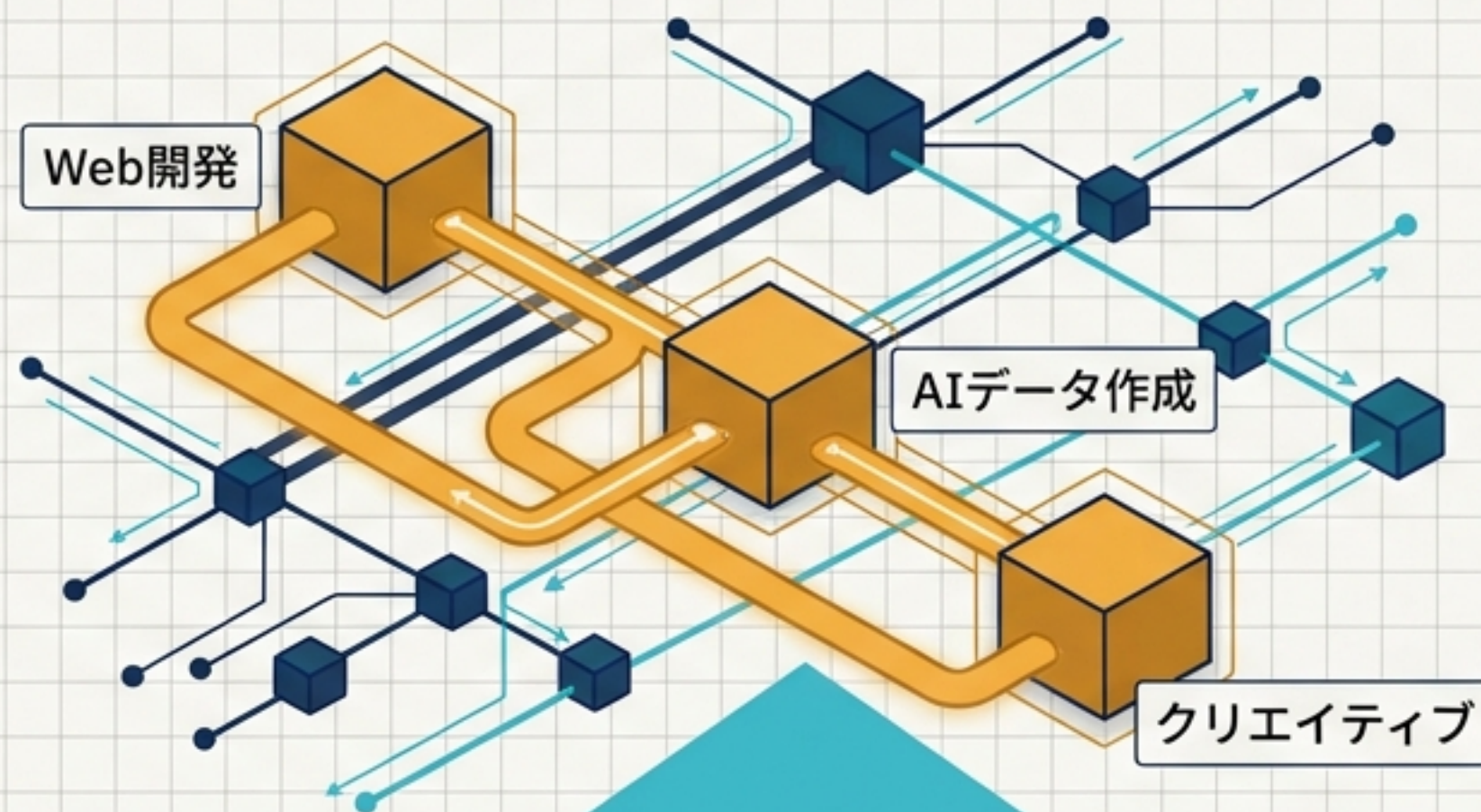
# 単純作業から、高度なビジネス・アーキテクチャへ

## 従来のA型モデル



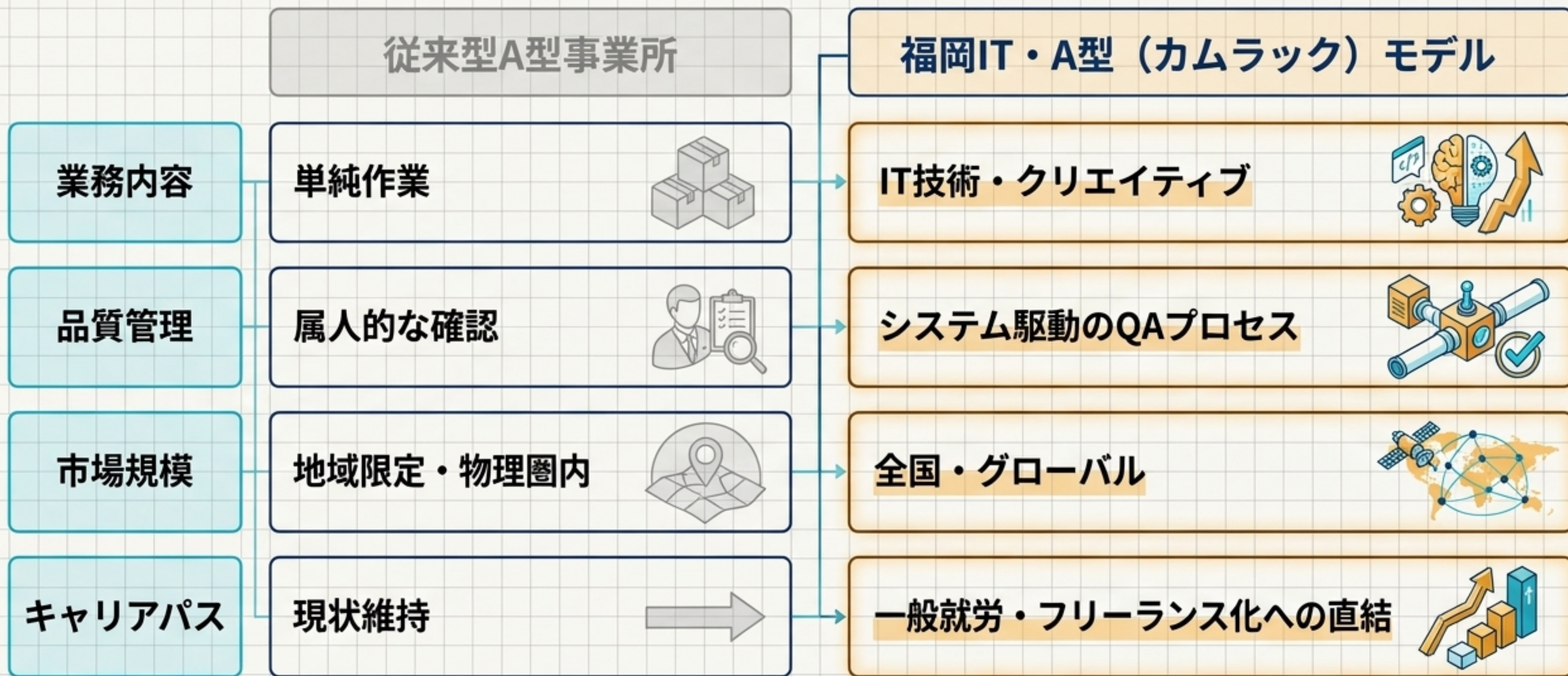
低工賃・市場の限定

## IT・技術特化型モデル

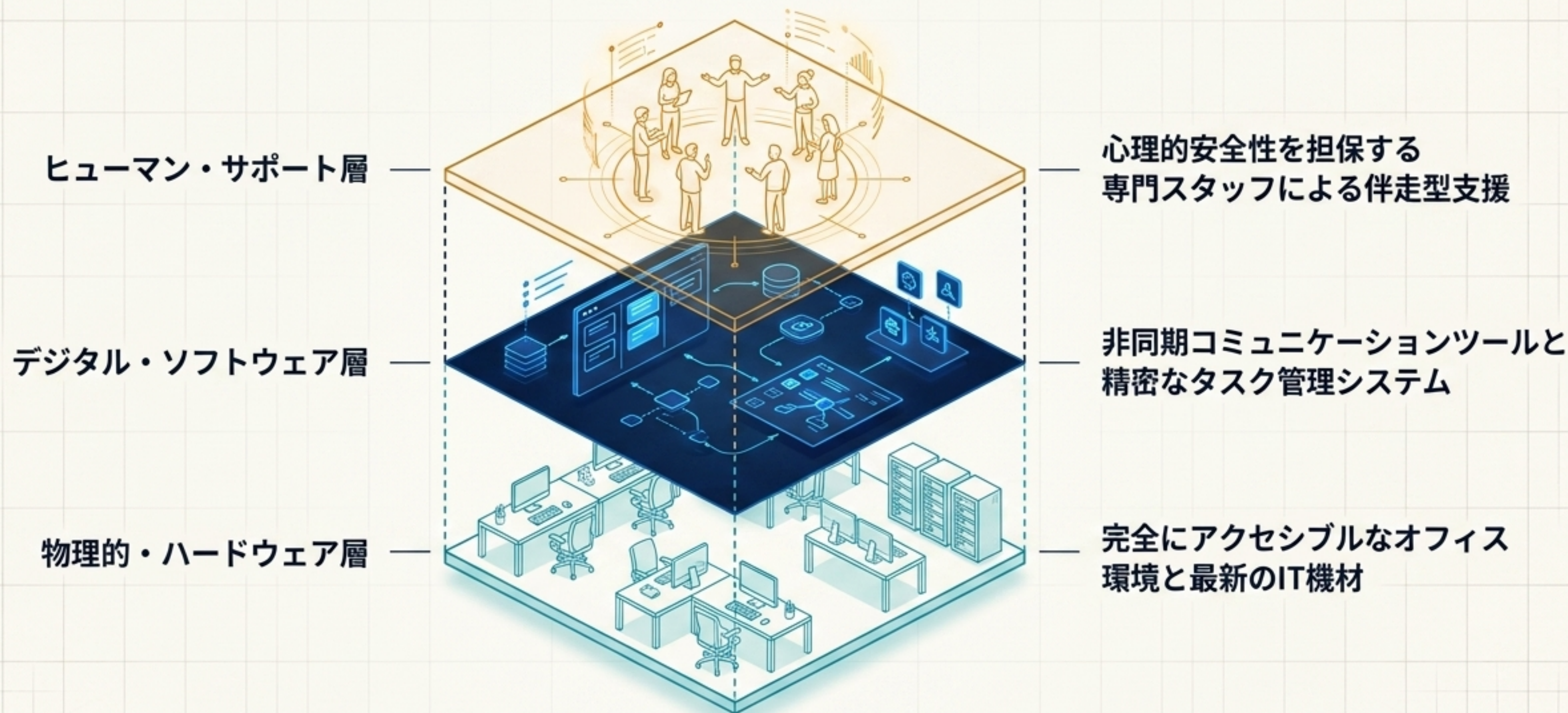


全国・グローバル市場への  
アクセスと高収益化

# ビジネスモデルの構造比較

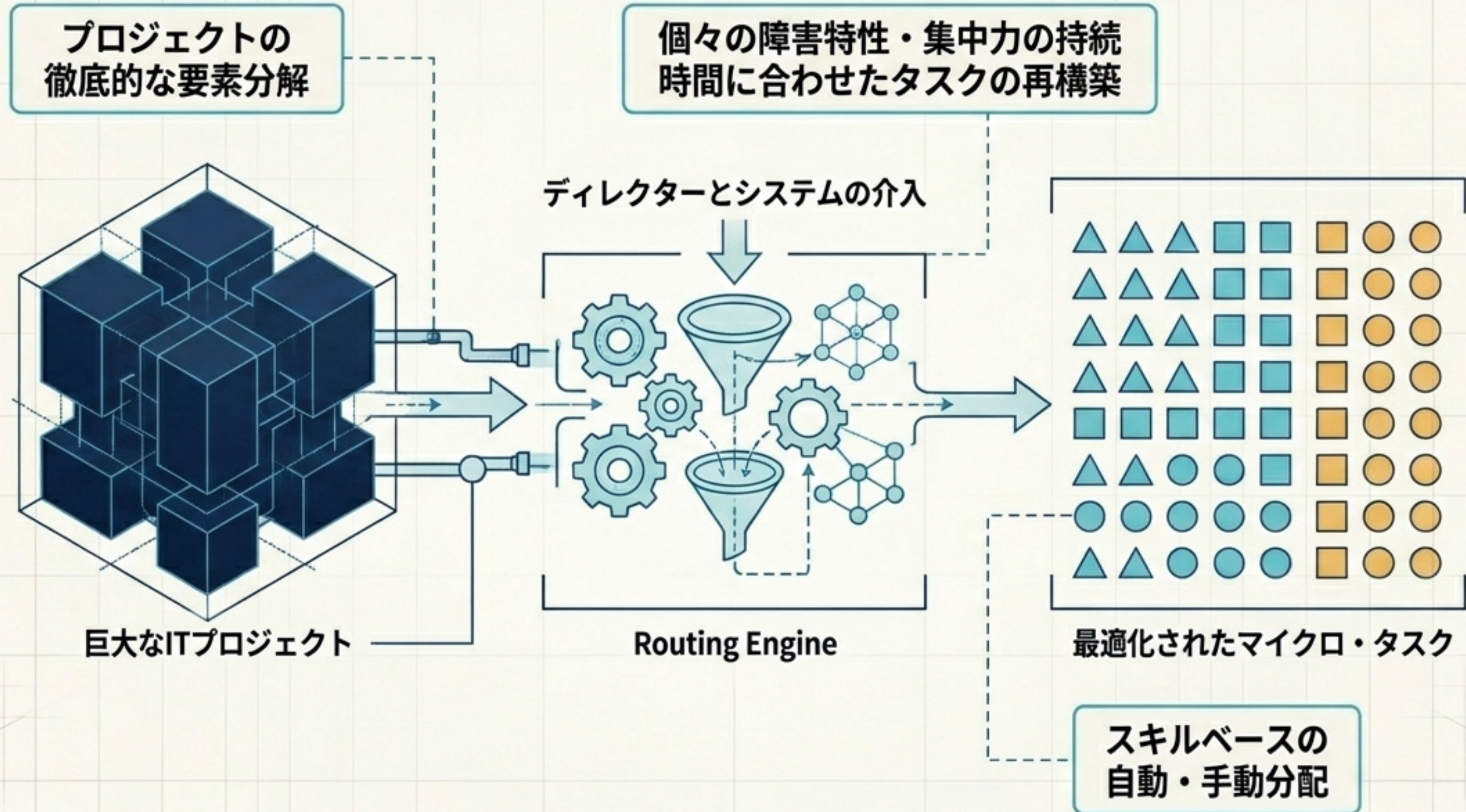


# 高品質を生み出す3層のインクルーシブ・ワークスペース

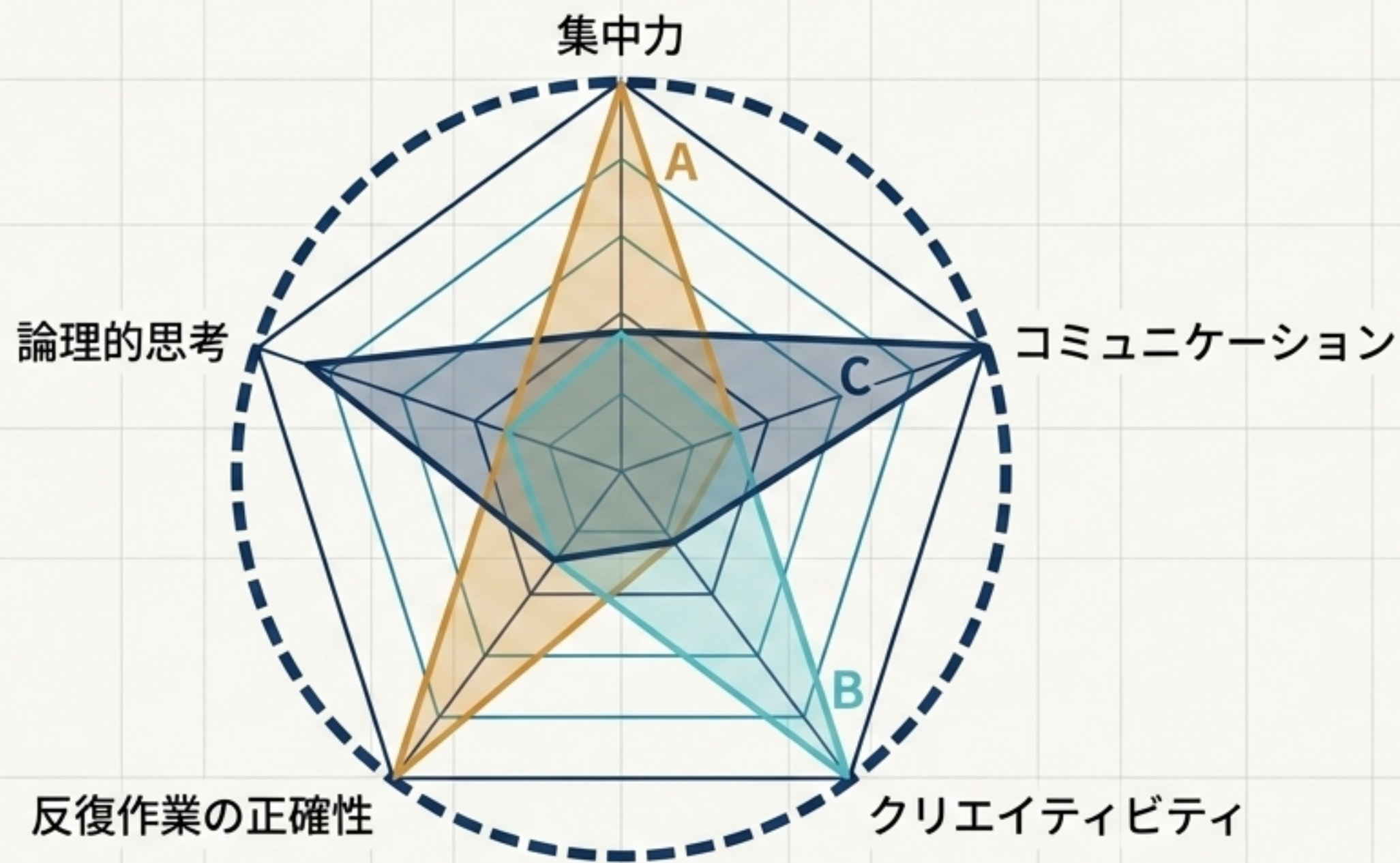


これら3層が重なり合うことで、障害の有無に関わらず最大の生産性が発揮される。

# オペレーションの核：マイクロ・タスク・ルーティング

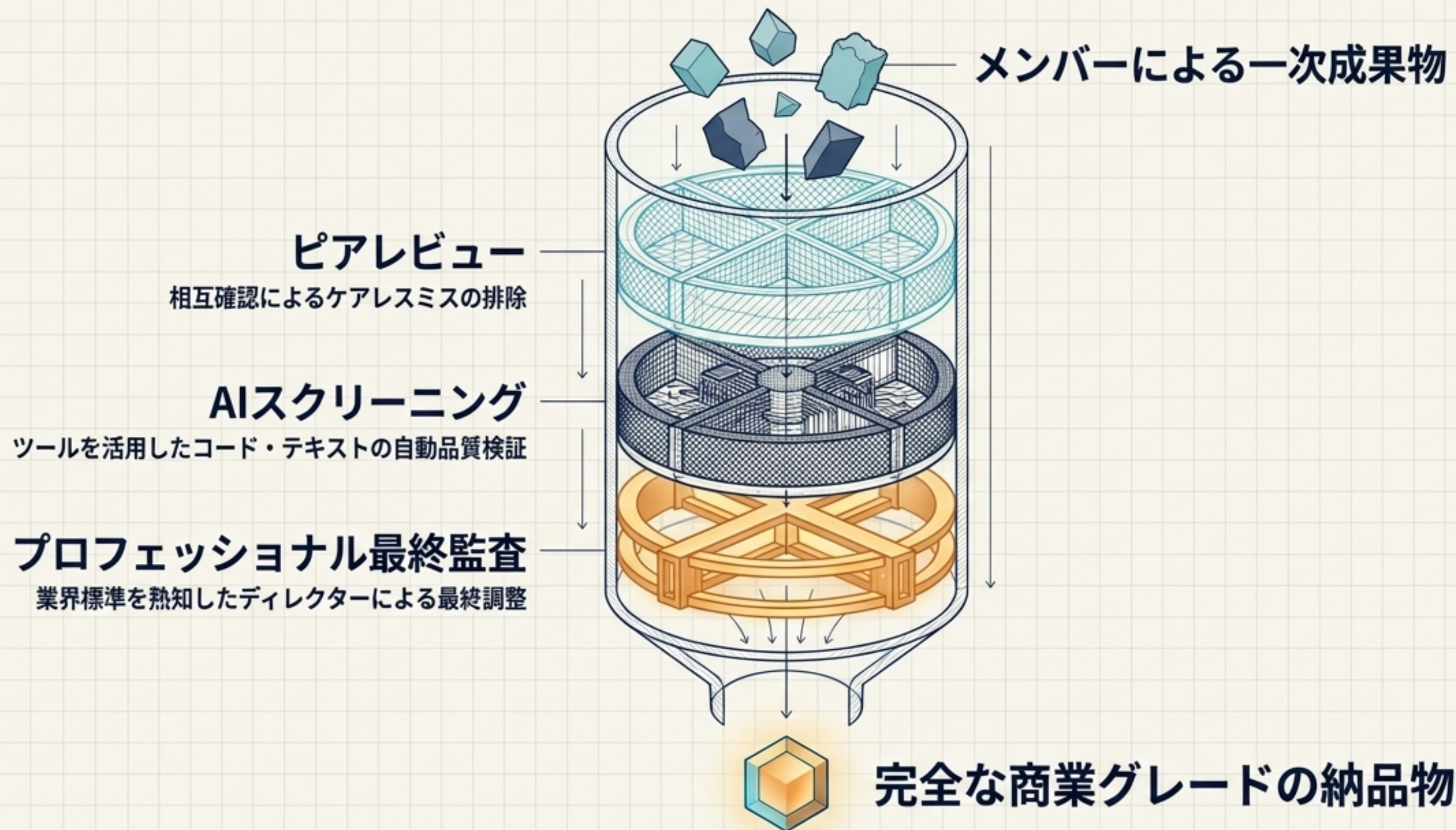


# 弱点を補完し合うチーム編成（スキル・マッピング）

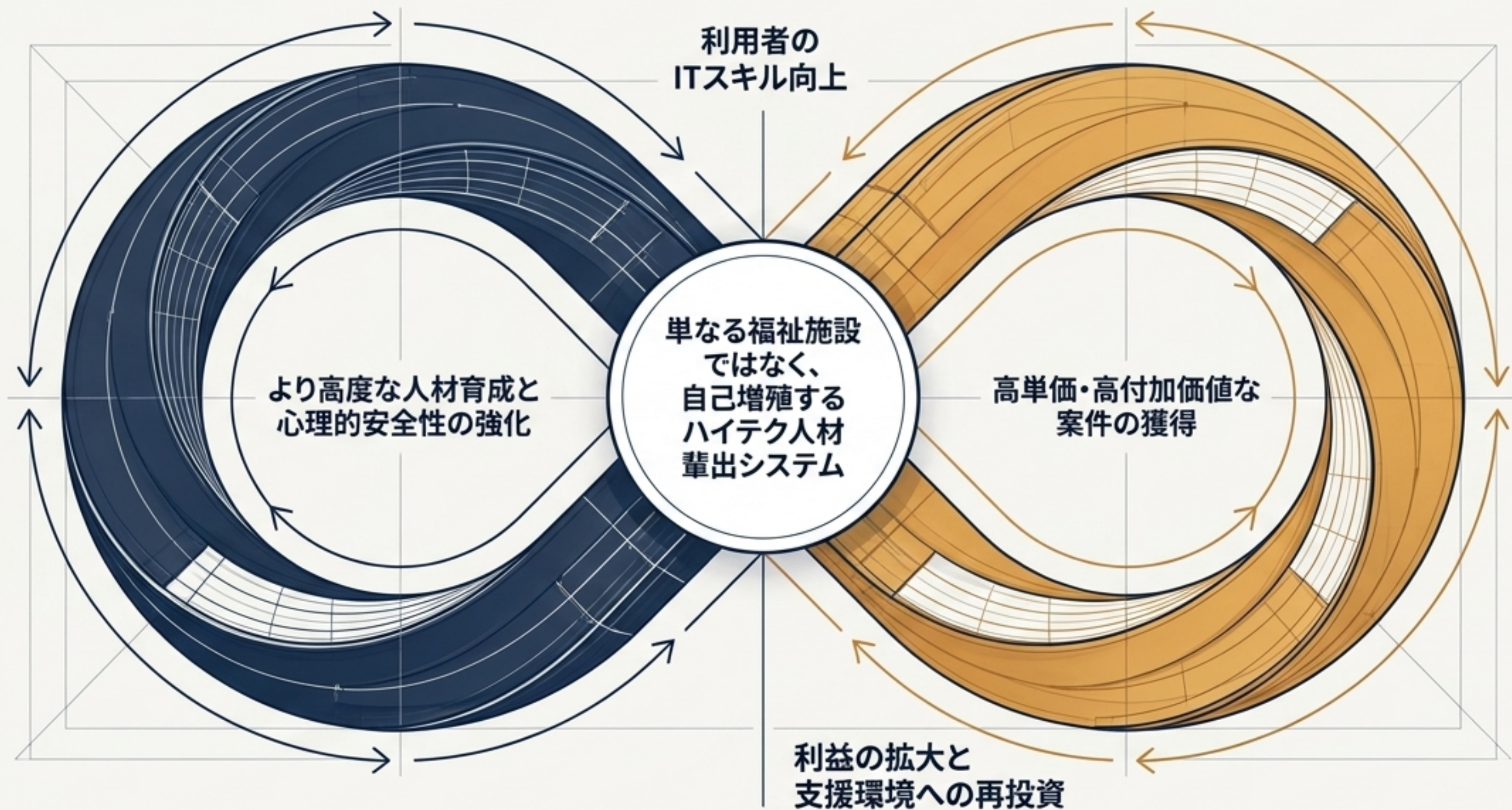


「個人の特性（偏り）」を「チームの完璧な網羅性」へと変換するマネジメント。

# 商業レベルを保証する「QAフィルター・ダイアグラム」



# 社会的価値と経済的価値の統合：デュアル・エンジン・フライホイール



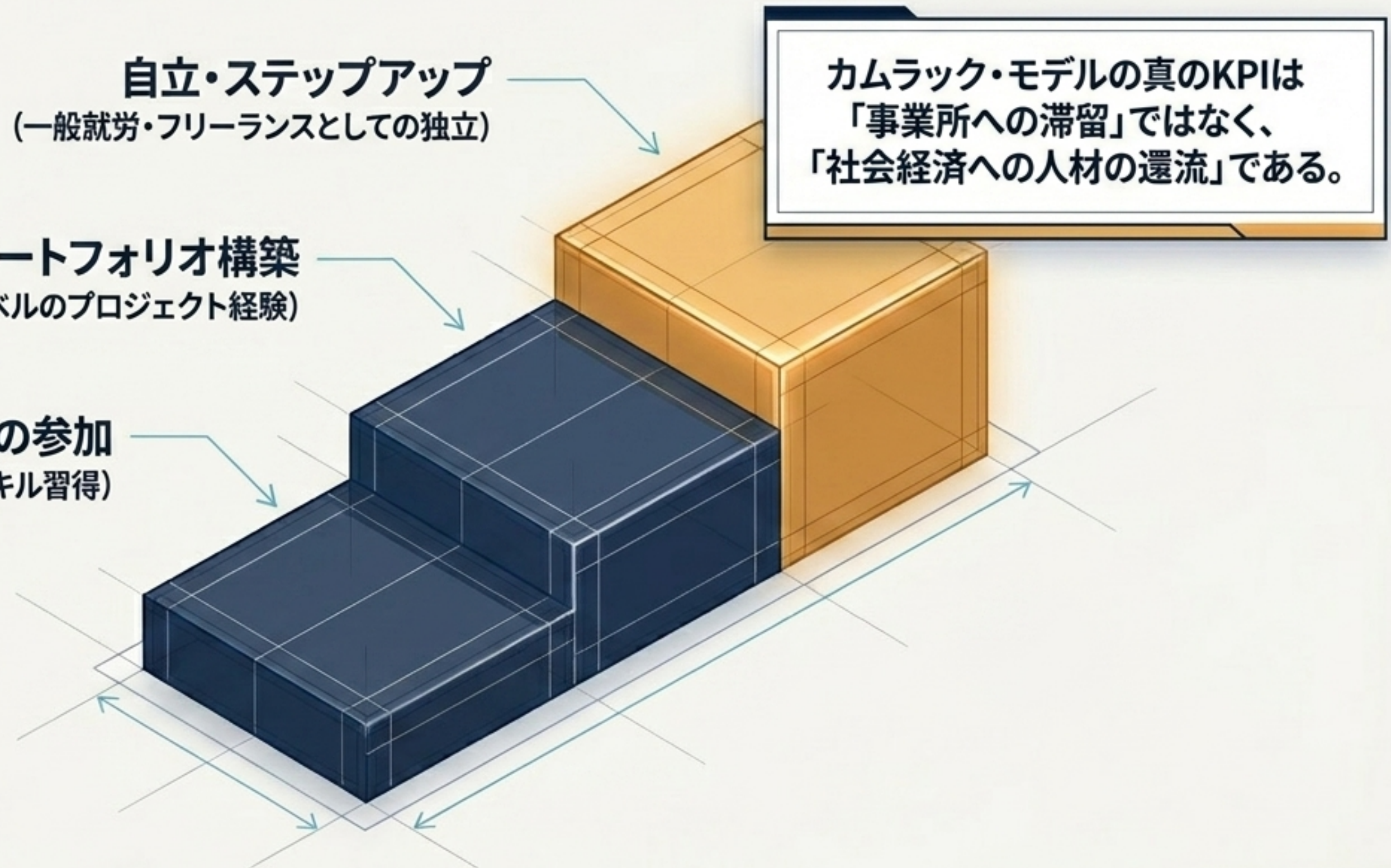
# 最終的なアウトプット：市場で自立するプロフェッショナルの輩出

自立・ステップアップ  
(一般就労・フリーランスとしての独立)

実務を通じたポートフォリオ構築  
(商業レベルのプロジェクト経験)

A型事業所への参加  
(安心できる環境でのスキル習得)

カムラック・モデルの真のKPIは  
「事業所への滞留」ではなく、  
「社会経済への人材の還流」である。



# 福祉の経済性を、技術とデザインで再定義する

テクノロジー (Micro-task Routing / AI) と、  
ヒューマン・サポート (心理的安全性) の融合。

それは、障害を「コスト」ではなく「未活用のリソース」へと  
転換する、最も合理的なビジネス・アーキテクチャである。

